



学校だより

「しんいち」

羽生市立新郷第一小学校

令和8年度 第1号

令和8(2026)年4月8日



子どもたちのウェルビーイングを高めるために

校長 今成 健

穏やかに吹く春の風が心地よい季節となりました。本校では11名の新1年生を迎え、児童数82名、8学級で、令和8年度のはじめの一步を踏み出しました。子どもたちは、新しい出発に胸を弾ませ、夢をふくらませていることと思います。

引き続き、本校の校長を務めます、今成 健(いまなり たけし)と申します。これまでの成果と課題をもとに、微力ではありますが、本校児童の健やかな成長のために職責を果たしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、近年、「well-being(ウェルビーイング)」という言葉をよく耳にします。ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる、持続的な幸福を含む概念のことです。学校教育においては「自己肯定感」「心身の健康」「幸福感」などを高めていくことが目標とされています。本市においても、第3期羽生市教育振興基本計画(2024年度から2028年度)で、子どもたちの幸せとともに社会全体の幸せでもあるウェルビーイングの向上を目指し、一人一人の可能性を最大限に引き出す教育を推進することが掲げられています。

これらを受け、私は、子どもたちが新一小で学びを重ね、力を高めるために頑張ること。教師が新一小の子どもたちの力を伸ばすために尽くすことが、子どもたちのウェルビーイング=未来の幸せにつながるのではないかと考えました。

そこで、令和8年度を迎えるにあたり、今年度は目指す学校像を変更し、校長として学校経営を次のように進めてまいりたいと考えております。

目指す学校像 「わかった!できた!頑張った! 児童も教師も輝く新一小」

【取組の一例】

- ・子どもたちの学力向上を目指した授業実践
- ・子どもたちの自己肯定感の向上を目指した適切な児童理解
- ・子どもたちの人権感覚の向上を目指した人間関係づくり

日々の小さな体験や学習の積み重ねが、子どもたちの豊かな成長、ウェルビーイングにつながります。私たち新一小教職員は、一つ一つの教育活動を丁寧に、着実に、そして、心を込めておこなってまいります。

一方、教育とは、「家庭の教えて芽を出し、学校の教えて花が咲き、社会の教えて実を結ぶ」とも言われます。子どもたちのウェルビーイングを高めるためには、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を果たしていくことが大切です。「どうすれば子どもたちが幸せになるか」をともに考え、共有し、導いていければ幸いです。子どもたち一人一人をかけがえのない存在として大切に、安心して、楽しく学校生活を送ることができるよう、令和8年度もあたたかなお力添えをお願い申し上げます。

4月の主な行事予定等		
1	水	春季休業日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	特別日課3時間授業 始業式 入学式
9	木	特別日課3時間 引き渡し訓練 心臓健診1年
10	金	3時間授業
11	土	
12	日	
13	月	給食開始2～6年
14	火	1年給食開始 尿検査1次 身体測定
15	水	委員会
16	木	人権教室 5・6年
17	金	交通安全教室
18	土	
19	日	
20	月	離任式
21	火	尿検査1次予備日 内科健診13:10
22	水	1年生を迎える会 クラブ 第1回学校運営協議会
23	木	全国学力学習状況調査
24	金	ホームリーディングデー
25	土	
26	日	
27	月	教育相談日
28	火	特別日課5時間授業 授業参観 学級懇談会 PTA総会
29	水	昭和の日
30	木	
5月の主な行事予定		
12日 埼玉県学力学習状況調査4・5・6年		
16日 親子ピカいちタイム		
21日 歯科健診		
30日 運動会		

2月17日 シェイクアウト訓練



緊急地震速報にあわせて避難動作を行うシェイクアウト訓練をしました。自分のいた場所での第一次避難が落ち着いてできました。

2月24日 学校運営協議会 授業参観 6年



6年生の授業参観にあわせ、学校運営協議会を開きました。学校の様子を見てもらい、これからの取組の在り方などを話し合いました。

3月5日 茶道体験 6年



新郷公民館の和室を借りて、6年生が茶道の体験をしました。お茶のたて方や作法などを教わりました。初めて体験することが多く貴重な経験ができました。

3月6日 6年生を送る会



6年生を送る会がありました。お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝えました。6年生の活躍を期待しています。

3月11日 避難所設立研修「HUGゲーム」



学校が避難所となるときに迅速に対応できるよう、羽生市役所の担当者を講師に、HUGゲームという図上演習をしました。避難所開設運営にあたり、起きる状況に対応することの難しさを理解しました。